

今月の絵本

わたしとあそんで



共感する喜びに気づか
せてくれ、優しい気持ちになれるおはなしです

さくら新聞

～笑顔de共育で～



月の主題

新たな一步

今月の保育のねらい

新しい環境に慣れ安定した生活をする



入園・進級
おめでとうございます

桜の花びらが舞う春、26名
の新入園児、100名の進級児、
合わせて126名の子どもたちと
過ごす、令和2年度がスタート
しました。

一つ大きくなつた喜びを
お祝いしてくれるかのように、モクレン、コブ
シ、桜、ユキヤナギ、ヒメリンゴ、山吹、ハナ
ミズキ、タンポポ、ハナニラ…と次々に春を彩
る花が咲いています。

新型コロナウィルス感染症が猛威をふるい、
様々なことを自粛したり、予定を変更したりす
る日々が続いています。私たち大人もかつてな
い状況に不安で落ち着かない毎日ですが、子ど
もたちの健康と安全を第一優先事項としつつ、
一度しかない「今年の春」を制限のある中であ
つても、楽しく過ごしていくように知恵を出
し合い、前向きに過ごしていきたいと思います。

モノトーンの冬の世界が日に日に色彩豊かな
世界に変わっていく春、この季節になると
花を咲かせていく日々の身近な自然の変化に
気づくと、心が晴れやかになります。

今年度より園長が交代し、新しい職員も迎え
ました。子どもたちの思い、小さな変化を見逃
すことなく受け止め、気づきを大切しながら、
職員一同、子どもの最善の利益を考慮して、保
護者の皆様と『笑顔 de 共育で』をしてま
りたいと存じます。

ご理解、ご協力、どうぞ
よろしくお願い致します。



园長 有馬聰子
『笑顔 de 共育で』をしてま
りたいと存じます。

保育、子育て一緒にがんばりましょう！！

保育園では、子どもたちは最初、保護者から離れて「不安の極致」の状態で毎日を過ごしています。その子どもたちにとって保育園が「安心できる場所」になるためには、まず「この人がいれば安心できる」という特定の保育士に対する極めて強い安心感（信頼感）をもつことです。絶対的な信頼感を築くことを「愛着形成」と呼んでいます。

保育士が子どもから信頼されるためには、食事、排泄をはじめとして子どもの命を守るためにのお世話を笑顔ですること、子どもが生き生きと自分らしさを發揮して、好奇心が豊かで何事にも意欲的に取り組めるようになっていく環境を作ること、子どもと様々なことを共感し、見守ることができなければなりません。子どもの成長を助けるための毎日は、同時に自分自身が成長する日々でもあります。

子育ても、子どもと生活を共にしていく中で、お世話をするだけではなく、子どもと共に楽しみながら、子どもに学び、共に成長していくということができれば、子育てもしんどいだけではなく、楽しみも大きいものだと思います。8歳をすぎると、親の役割は段々少くなり、友だち、学校の先生、そして読書がその子の育ちに影響を与えるようになるというが、我が子の成長を見守っていく中で感じたことです。二度と戻ることができない貴重な時間を親子で思う存分楽しんでください。

理事長 樋口 正春



4月の予定

日	曜日	内 容
1	水	入園・進級の日
7	火	身体計測（乳児）
8	水	身体計測（幼児）
22	水	0歳児健診
30	木	避難訓練

※ 28日：ニコニコフォト撮影予定日

*区よりのお知らせ

4月の行事につきましては、新型コロナ
ウィルス感染症対策の徹底に伴い、全
て中止とします。（なお、5月以降に関し
ては、現在未定です。）

◆ 絵本貸出・おはなしのへやの開放は、新型コロナウィルス
感染症対策のため、しばらくお休みします。ご了承ください。

『気づく喜び』を
教えてくれる詩をご紹介します

人は気づくことが大事だ
教えて覚えること
そうかと自分で気づいて
わかったことはぜんぜんちがう
教えておぼえたことは頭で覚えたこと
気づいてわかったことは
体験を通して身についたこと
頭で覚えることは知識
気づいて身についたことは
自分を動かしてくれる力だ
生きる自分を助けてくれる力だ

阿部ヤエ『こころにつよくひびいたから』より

